

第249回鳳雛講座 令和6年9月18日(水)

9月18日(水)に今年度6回目の鳳雛講座を行いました。講師は大館桂工業株式会社電設課の富谷仁達さん、メンテナンス課の高橋優斗さんが務めてくださいました。大変聞きやすい話し方と分かりやすいプレゼン資料で、参加した生徒たちは熱心に聴き入っていました。

○講話の内容

・大館桂工業株式会社での仕事とは…

様々な建物の中にある電気設備、エアコンなどの空調設備、受水槽、道路で何度も見かける信号機、電車の踏切、融雪設備の組み込まれた道路など、生活を支えるさまざまな工事を手がけるのが大館桂工業株式会社。新規に設営する工事だけではなく、性能を保つための保守点検や清掃業務なども扱っている。

厳しい労働環境をイメージしがちな建設業だが、現在は様々なICT機器や、重機の遠隔操作、ドローンの活用など、様々な負担軽減が図られている。また、余裕のある工期設定や休日設定、社内での託児施設の設置など、労働環境の向上が行われている。

・仕事の中で心がけていること

現場監督として活躍している富谷さんは、工事が順調に進んでいるかを、次の4つの観点で考えている。①工程管理、②予算管理、③品質管理、④安全管理。そのなかでも、常に意識していることが「工事を無事故無災害で完了する」ことで、そのために同じ工事に取りかかるチームメンバーとのコミュニケーションも大切にしているそうだ。

○結びに

工事に関わる全員で協力して大きなものをつくりあげることが建設業の魅力である。建設業は完全にはなくならない仕事であり、経験を積むほど必要とされる人材となって活躍することができる。今の中学生に身に付けてほしいことは、新しいことに挑戦すること、誰とでも円滑に仕事を行うことができるコミュニケーション能力、そして日々目標をもって勉強に取り組むこと。大人になっても勉強することは続き、分からない事を調べたり、人に聞いて解決しようとしたりする能力が大切である。

○生徒の感想から

- ・多くの人が関わって成し遂げる、工業の仕事について知ることができた。将来に向けて、たくさん新しいことに挑戦することを心がけ、これからも頑張りたい。
- ・工業系の仕事は、今までとても厳しいというイメージが強かったが、最新技術を駆使することで負担を軽減するための工夫がなされていることを知ることが出来た。
- ・自分は、将来工業系の進路を考えているので、今日の講座で学んだことを自分の進路選択の参考にして、今後の受験勉強も頑張っていきたい。







